

# ベトナムカーフリーデーの発展にむけた 移動改善実験・施策提言策定活動

イベントの 延べ参加者数	約 900 人
イベント参加者 の満足度	90%
活動の全体目標 に対する達成度	95%



ホイアン市初の路線バス試運行の様子

## ◆成果と工夫したポイント

### ●成果

二つの活動において目標値に対し、約 160% の人に参加していただき、啓発することができた。バスの試運行では、2 日間で約 760 人が利用し、社会的にもアピールできた。

### ●工夫

仮設自転車走行優先レーンは、認識しやすく改善をした。バス試運行は、運行間隔を 15 分として利用を促した。

## 課題

ベトナムでは、バイク交通による地球環境問題や、渋滞や交通事故、コミュニティの破壊など社会的問題が深刻で、バイクへの過度な依存からの脱却が喫緊の課題。

## 目標

ホイアン市が、車やバイクへの依存を見直して、人と環境にやさしい交通政策を推進することを目指し、現地市民団体とともに、自転車と公共交通に焦点を当てた活動（目標合計参加人数 550 人）を行うこと。

## 活動内容

- 安全な自転車走行環境改善を目的とした、仮設自転車走行優先レーンの整備、自転車利用促進フェスティバルの開催。
- バイクだけではなく、公共交通も移動手段の選択肢の一つとしてもらうべく、ホイアン市で初となる路線バスの実現に向けた検討、試運行の実施、利用者数、利用者行動調査やヒアリング調査の実施。
- 活動実施にあたっては、行政の協力だけでなく、地域の人々や事業者とともに進めることを重視した。



試運行バスの車両に貼り付けたバナー

## 達成できなかったこと

バス試運行では多くの人に利用されたものの、ホテル宿泊客の割合が低く、より活発な PR、わかりやすさの配慮が少し不足していた。

## 今後の展望

ホイアン市が率先し、自転車・公共交通の利用環境改善を推進することができるよう、今後も提案を継続していく。